



## 平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト

コード番号 8798 URL <https://www.advancecreate.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員 管理部長 (氏名) 大原 勲 TEL 06-6204-1193

四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日 配当支払開始予定日 平成27年6月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	3,794	3.5	752	40.3	757	44.7	438	49.6
26年9月期第2四半期	3,666	△4.7	536	△10.9	523	△8.4	292	27.1

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 422百万円 (43.2%) 26年9月期第2四半期 295百万円 (16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	40.42	40.11
26年9月期第2四半期	27.94	27.21

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	7,914	4,824	60.9
26年9月期	7,012	4,352	62.0

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 4,819百万円 26年9月期 4,350百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年9月期	—	20.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	2.5	1,320	16.6	1,300	17.4	745	13.6	68.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期2Q	10,999,100株	26年9月期	10,999,100株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	18,975株	26年9月期	518,975株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期2Q	10,836,169株	26年9月期2Q	10,480,125株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年10月1日～平成27年3月31日）におけるわが国経済は、円安・株高基調が継続し、企業業績は引き続き緩やかな回復基調にあります。一方で消費税率引き上げや輸入原材料価格の上昇等による消費マインド低下の懸念が払拭されたとは言い難く、依然として先行きは不透明な状況となっております。海外経済においては、世界的な地政学リスクの高まりや新興国経済の下振れリスク等により景気動向に重要な影響を与える懸念が一段と高まりつつあります。

保険業界においては、保険業法の大幅な改正が来年施行予定であり、保険代理店にも保険募集管理態勢の一層の強化が求められております。その中で、営業環境についても公的保障を補完するものとして民間保険に対する底堅いニーズはあるものの、景況感の改善に伴い消費者心理が貯蓄から投資や消費へ向かう等、生活防衛色に一服感が見られ、やや逆風下にあると言えます。

このような状況の下、当社グループは、保険流通改革のパイオニア企業として情報メディアサイト「保険市場（ほけんいちば）」を主軸とする「Web to Call to Real」の一气通貫型サービスにより、お客様のあらゆる保険ニーズに対応できるプラットホーム戦略を推進してまいりました。

情報メディアサイト「保険市場（ほけんいちば）」は、保険情報のディストリビューターとしてさらなるお客様のユーザビリティ向上と、保険会社各社との連携強化のための進化を追求しております。特に、あらゆるデバイスを通じた保険の比較・申込サービスの拡充を積極的に進め、マーケット動向に機敏に対応しながら、保険に対するニーズに着実にアプローチしております。さらに、当社独自開発の顧客管理システムを活用したCRM戦略の一環として協業提携先とのネットワーク化を進め、万全の顧客管理と保全管理体制を構築しながら、高度なお客様サービスを実現しております。

これらの取り組みの中、ターゲットを明確にした効果的なWebマーケティングを実施した結果、投資効率が大きく改善し、営業生産性の向上とともに収益に寄与いたしました。

また、当社は保険業法改正に先んじて、ガバナンス体制及びコンプライアンス体制の充実や情報セキュリティ体制の強化、社内に対応プロジェクトチームの設置等、より一層の保険募集管理態勢の構築に向けて全社的に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,794百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は752百万円（前年同期比40.3%増）、経常利益は757百万円（前年同期比44.7%増）、四半期純利益は438百万円（前年同期比49.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の営業収益は3,482百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は673百万円（前年同期比44.9%増）となりました。

広告代理店事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は188百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益は40百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

再保険事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は264百万円（前年同期比24.3%増）、営業利益は37百万円（前年同期比58.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は901百万円増加し7,914百万円、負債は429百万円増加し3,089百万円、純資産は472百万円増加し4,824百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加522百万円であります。負債の増加の主な要因は、短期借入金の増加400百万円によるものであります。また、純資産の増加の主な要因は、新株予約権行使に伴う自己株式の処分378百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加し、604百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間においては、税金等調整前四半期純利益716百万円（前年同期は518百万円）、法人税等の支払額223百万円（前年同期は282百万円）、売上債権の増加額530百万円（前年同期は208百万円の増加）等により、営業活動の結果獲得した資金は77百万円（前年同期は187百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、無形固定資産の取得による支出150百万円（前年同期は44百万円の支出）等があり、240百万円の支出（前年同期は84百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は、短期借入れによる収入1,250百万円（前年同期は1,550百万円の収入）、短期借入金の返済による支出850百万円（前年同期は1,550百万円の支出）等により、253百万円の収入（前年同期は481百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月1日付の「平成27年9月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用）

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては、従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	517,479	607,513
受取手形及び売掛金	3,105,773	3,628,443
繰延税金資産	99,115	113,163
その他	289,606	445,857
流動資産合計	4,011,974	4,794,979
固定資産		
有形固定資産	623,287	645,144
無形固定資産		
のれん	40,109	26,739
ソフトウェア	268,368	235,341
その他	170,541	257,217
無形固定資産合計	479,018	519,299
投資その他の資産		
投資有価証券	293,076	328,947
差入保証金	585,977	580,920
保険積立金	844,483	844,483
繰延税金資産	95,460	119,310
その他	73,760	77,623
投資その他の資産合計	1,892,758	1,951,286
固定資産合計	2,995,064	3,115,729
繰延資産	5,159	3,399
資産合計	7,012,198	7,914,107
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	400,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	239,903	302,316
賞与引当金	129,911	115,839
代理店手数料戻入引当金	51,562	57,820
その他	963,749	1,000,385
流動負債合計	1,585,127	2,076,362
固定負債		
社債	300,000	200,000
退職給付に係る負債	191,113	200,046
資産除去債務	77,992	78,205
訴訟損失引当金	—	41,412
その他	505,213	493,302
固定負債合計	1,074,318	1,012,965
負債合計	2,659,445	3,089,327

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	475,193	352,328
利益剰余金	1,258,866	1,487,332
自己株式	△393,308	△14,383
株主資本合計	4,256,065	4,740,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,627	79,388
その他の包括利益累計額合計	94,627	79,388
新株予約権	2,060	4,800
純資産合計	4,352,753	4,824,779
負債純資産合計	7,012,198	7,914,107

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	3,666,398	3,794,771
売上原価	894,195	716,424
売上総利益	2,772,202	3,078,346
販売費及び一般管理費	2,235,870	2,325,657
営業利益	536,332	752,689
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,267	2,561
為替差益	2,423	15,850
貸倒引当金戻入額	750	—
その他	1,978	1,234
営業外収益合計	6,418	19,646
営業外費用		
支払利息	11,391	8,734
その他	7,950	5,978
営業外費用合計	19,342	14,713
経常利益	523,407	757,622
特別利益		
受取和解金	5,414	—
特別利益合計	5,414	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	4,700	—
訴訟損失引当金繰入額	—	41,412
和解金	5,335	—
特別損失合計	10,035	41,412
税金等調整前四半期純利益	518,786	716,209
法人税、住民税及び事業税	190,388	284,839
法人税等調整額	35,562	△6,698
法人税等合計	225,950	278,141
少数株主損益調整前四半期純利益	292,836	438,068
四半期純利益	292,836	438,068

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	292,836	438,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,381	△15,239
その他の包括利益合計	2,381	△15,239
四半期包括利益	295,218	422,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,218	422,829
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	518,786	716,209
減価償却費	163,881	180,163
繰延資産償却額	3,699	1,760
のれん償却額	13,369	13,369
代理店手数料戻入引当金の増減額（△は減少）	△40,220	6,257
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3,950	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	△5,038	△14,072
退職給付引当金の増減額（△は減少）	22,592	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	8,933
受取利息及び受取配当金	△1,267	△2,561
支払利息	11,391	8,734
売上債権の増減額（△は増加）	△208,355	△530,442
その他	8,206	△80,311
小計	490,996	308,040
利息及び配当金の受取額	1,267	2,561
利息の支払額	△11,397	△9,085
法人税等の支払額	△282,158	△223,580
その他	△11,561	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,145	77,935
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△36,729	△24,231
無形固定資産の取得による支出	△44,909	△150,219
投資有価証券の取得による支出	△739	△65,672
貸付金の回収による収入	5,039	447
差入保証金の差入による支出	△1,132	△6,168
差入保証金の回収による収入	1,197	11,224
その他	△7,063	△5,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,337	△240,315
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,550,000	1,250,000
短期借入金の返済による支出	△1,550,000	△850,000
社債の償還による支出	△190,000	△100,000
自己株式の処分による収入	—	254,000
配当金の支払額	△208,220	△209,377
その他	△83,700	△91,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	△481,921	253,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	278	△787
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△378,835	90,034
現金及び現金同等物の期首残高	1,000,049	514,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	621,214	604,491

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分により、自己株式処分差損が122,865千円発生し、自己株式が378,925千円減少しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金は352,328千円、自己株式は14,383千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年10月1日至平成26年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,244,518	208,899	212,980	3,666,398	—	3,666,398
セグメント間の内部売上高又は振替高	154,766	8,428	—	163,195	△163,195	—
計	3,399,284	217,328	212,980	3,829,593	△163,195	3,666,398
セグメント利益	464,590	46,682	23,859	535,132	1,200	536,332

(注) 1. セグメント利益の調整額1,200千円はセグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年10月1日至平成27年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,349,845	180,153	264,773	3,794,771	—	3,794,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	133,063	8,204	—	141,268	△141,268	—
計	3,482,909	188,357	264,773	3,936,040	△141,268	3,794,771
セグメント利益	673,152	40,597	37,739	751,489	1,200	752,689

(注) 1. セグメント利益の調整額1,200千円はセグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。